

雄大な自然の中で

悠久の時の流れを感じてみませんか？

## 檜山の 道立自然公園 ガイドマップ



③鮪ノ岬（しびのみさき）：正六角形の岩肌が重なり奇妙な地層を作り出している岬。岬の形がマグロの背に似ていることなどからその名がついたといわれる。春先には岬の先端までソメイヨシノが咲き競う桜の名所でもある。乙部町に所在。



⑤三本杉岩：高さ30メートル程の海面に立つ岩。あたかも三本の老杉が波間にそびえ立つ様に見える、うち一本が少し離れているところから、先人がこれを三角関係の悲恋に見立て民謡を生んだ。周囲は環境省が優れた水質と評価した海水浴場となっている。せたな町に所在。



②なべつる岩：奥尻島に近づくとフェリーから見える奥尻町のシンボルの奇岩。「鍋の取って（つる）」のような形状からその名がついた。夜はライトアップされ暗い海に浮かび上がる。

④夷王山：標高159メートルの山頂からは弧を描く日本海の海岸線や沖合に浮かぶ奥尻島などを一望できる。周辺には中世から近世にかけての史跡等も数多く残されている。上ノ国町に所在。

⑥太田神社：断崖絶壁にそびえる太田山にある道内最古とも言われる山岳霊場。本殿にたどり着くためには、ロープ等を辿りながら急勾配の階段、山道、絶壁を登らなければならない。所要時間は登り90分、下り60分程度。せたな町に所在。

### お問い合わせ先

■北海道檜山振興局保健環境部環境生活課

Tel：0139-52-6494

■北海道環境生活部環境局生物多様性保全課

Tel：011-204-5204

### 関連ウェブサイト

<http://www.hiyama.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kks/sizen/sizen/top.htm>

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/skn/sizenhome/kouen.htm>



①鷗島（かもめじま）：江差町のシンボルとして人々に親しまれる美しい自然豊かな小島。島には、瓶子岩や千畳敷などの奇勝が多く、野鳥も数多く観察される。夏季には絶好の夕陽スポットとなる。



## 檜山の植物



エソエンゴサク（上）：4～5月頃、日当たりのよい山の斜面に咲く。花の色は、薄い紫から淡い水色までバリエーションに富む。群生していることが多く、遠目にも空色が目立ち美しい。

オオバナノエンレイソウ（下）：4～5月頃、明るい林の中に咲き、林の中で、白い花がととても目立つ。十数本がまとまって咲くことがある。

エソスカシユリ（左）：7～8月頃、海岸の草原に咲く。花は首を下に向けてことなく、真上を向いている。名のとおり、花びらの基部が離れていて、地面が透かして見える。



キクサイチゲ（上）：3～4月頃、日当たりのよい山の斜面に咲く。花の色は、基本は白だが、場所により青いものも。花を太陽に向けて暖かくし、虫をおびき寄せる。



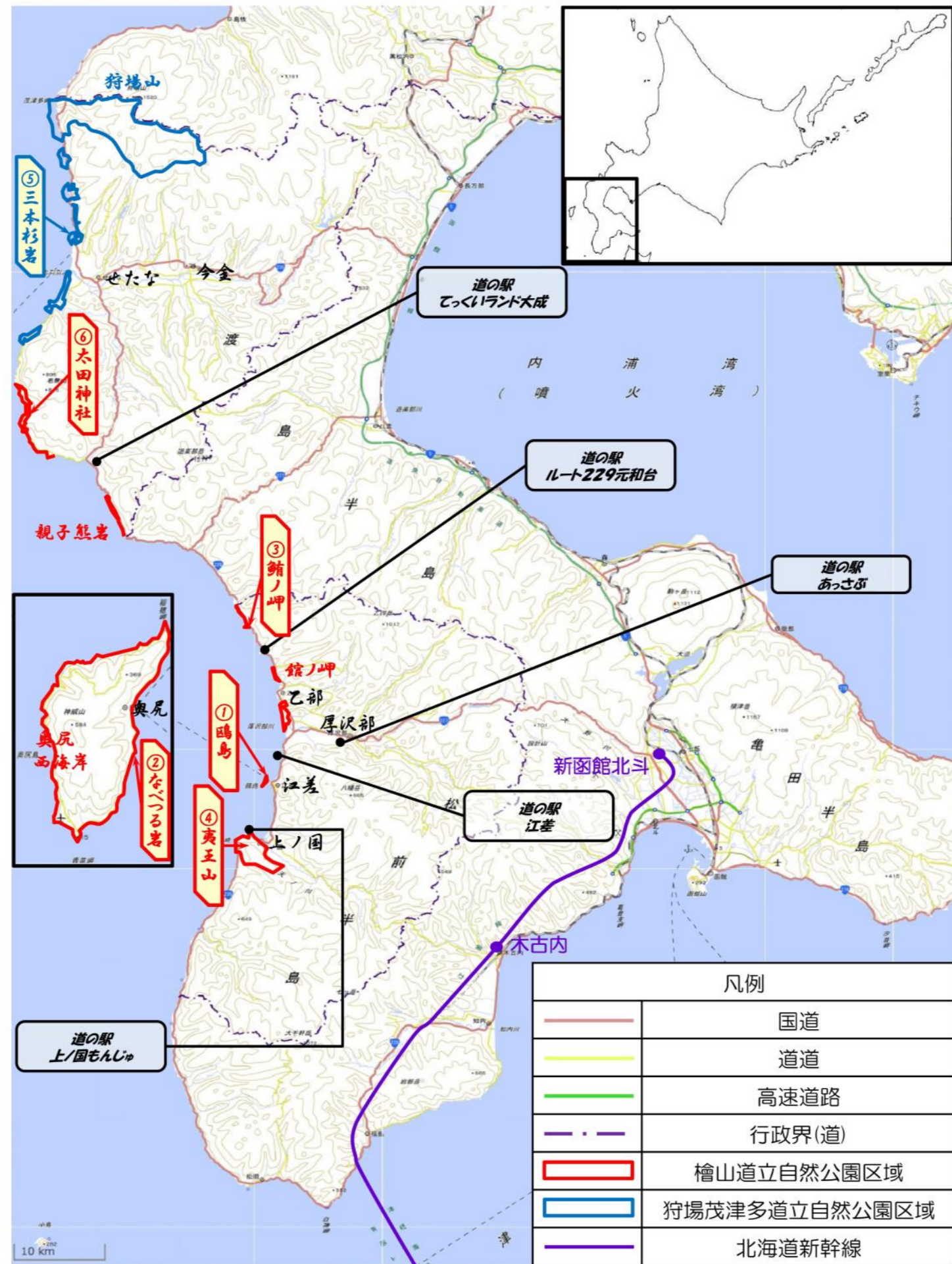
イワベンケイ（上）：7月頃、海岸の岩場などに咲いている。雄花と雌花があり、雌花はやや赤色が混じる。葉は肉厚で、乾燥から身を守るために水分を貯めている。

ハマナス（上）：6～8月頃、海岸近くの砂地や明るい斜面に咲く。夏から秋にかけて、真っ赤な実を付けた時も美しい。



エソカワラデシコ（上）：7～9月頃、海岸の岩場や河原などに咲く。一つの茎に数個の花を付け、ピンク色がよく目立つ。葉や茎も薄い水色のよう独特の色合いで他の植物と区別しやすい。

ハウチワカエテ（上）：10月頃、山地の尾根近くで、紅葉する。紅葉の色は、赤から朱、黄色とグラデーションが美しい。葉の形が天狗の団扇に似ているので、この名が付いた。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平27情複、第1147号）

## 檜山の野鳥



ハヤブサ（上）：海岸の崖の多い場所で繁殖し、崖のてっぺん等から、ハトなど中型の野鳥を見つけ襲う。春先に、オスがメスにエサを空中で受け渡すシーンがよく見られる。

ヤマガラ（下）：夏場は山中で繁殖し、秋から冬に崖の逆さまに止まり、虫や木の実をついばむなど、アクロバティックな動きをする。

エゾライチョウ（左）：山間部の林道沿いに見られる。小さな子たちを連れて、エサをついばむ姿が愛らしく、



ルシクキ（右）：春と秋の渡りの途中で枝に留まり、尾や翼を細かく振るむ姿が見られる。

### 檜山管内では2つの道立自然公園が指定されています

【檜山道立自然公園】  
上ノ国町、江差町、乙部町、せたな町大成区、奥尻町及び八雲町熊石（渡島管内）の6町にまたがる自然公園。日本海の強風と波浪によって形成された奇岩や勇壮な岩石海岸地形が見られるほか、中世～近世にかけての社寺、城跡などの歴史的・文化的遺産が数多く残されています。

【狩場茂津多道立自然公園】  
せたな町（北檜山区、瀬棚区）、寿都町・島牧村（後志管内）の2町1村にまたがる自然公園。道南の最高峰狩場山の山岳景勝、茂津多岬を中心とした荒々しい海蝕景観、種々の高山植物等を楽しむことができます。

《自然公園内での行為規制について》  
道立自然公園では、自然の風景等の保護のため木竹の伐採等、各種行為を行うにあたり許可や届出が必要な場合があります。規制の詳細や許可・届出の手続きについては檜山振興局環境生活課までお問い合わせください。

《ヒグマに注意》  
自然公園内を含め、檜山管内にはヒグマが生息しています。ヒグマとの事故を防ぐため、次のことを遵守してください。

- ・事前に役場等へヒグマの出没情報を確認する。
- ・山野では単独で行動しない。また、音を出しながら歩く。
- ・早朝や夕方など薄暗い時には行動しない。
- ・フンや足跡を見たらすぐに引き返す。
- ・食べ物やゴミは必ず持ち帰る。